様式第二号の九（第八条の四の六関係）　　（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年6月30日

呉市長　　様

提出者

住所　広島市中区立町２－２３

氏名　東亜建設工業株式会社中国支店
執行役員支店長　岡　　禎　之

（法人にあっては，名称及び代表者の氏名）

電話番号　082-247-6326

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき，　令和４年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

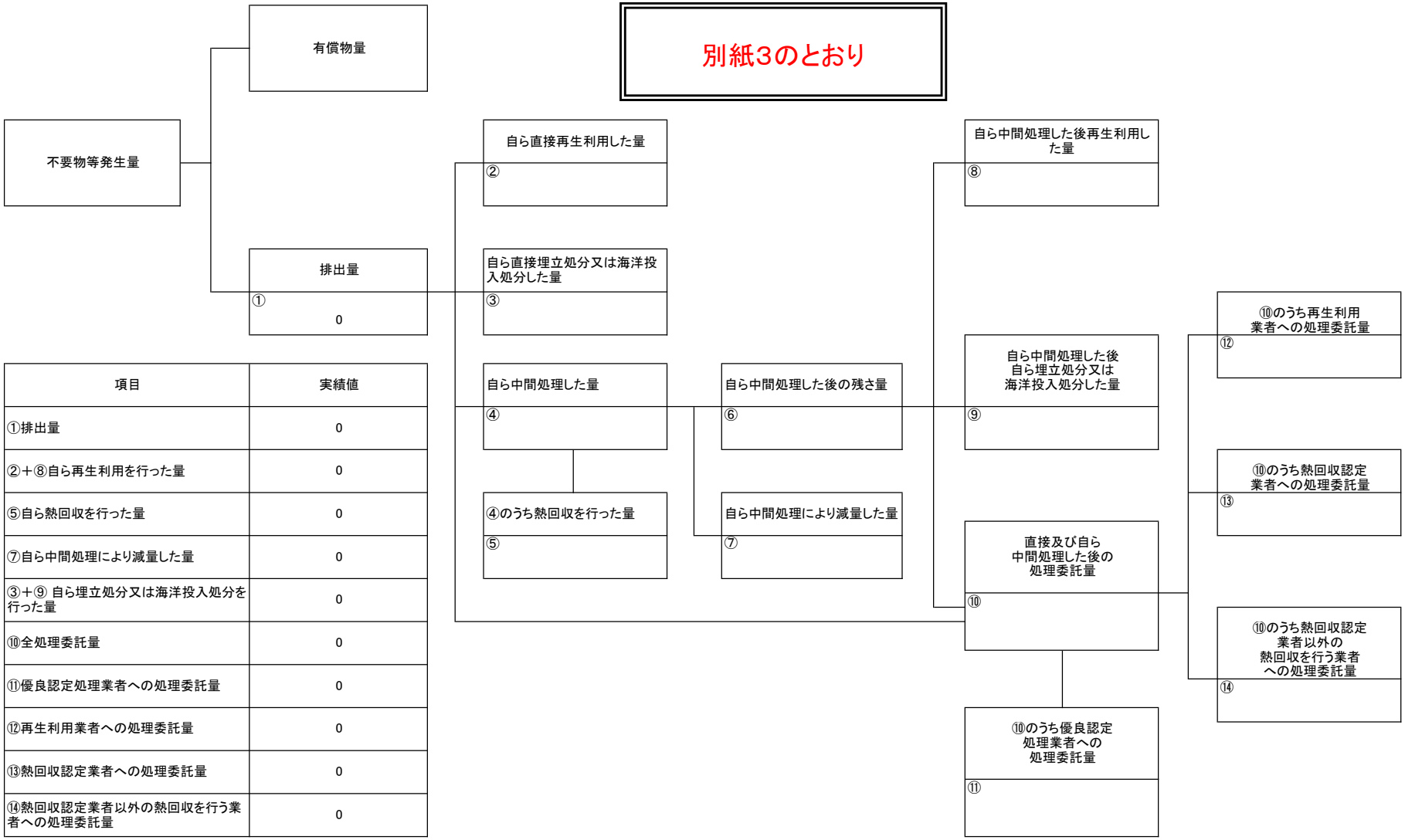
事　業　場　の　名　称	東亜建設工業株式会社中国支店
事 業 場 の 所 在 地	広島市中区立町２－２３
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値　**別紙４のとおり**

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1047　t	全処理委託量	1047　t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	114　t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1036　t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類:　　）

別紙3のとおり



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には，日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には，項目ごとに，産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第２面には，前年度の産業廃棄物の処理に関して，①～⑭の欄のそれぞれに，(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち，中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち，中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち，自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち，熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち，自ら利用し，又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち，自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち，優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち，処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち，認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち，認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第２面の左下の表には，項目ごとに，産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が２以上あるときは，産業廃棄物の種類ごとに，第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し，当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

別紙3-その1（廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書）
（令和4年度実績）

単位:トン／年

産業廃棄物の種類	① 排出量	② 自ら直接再生利用した量	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④ 自ら中間処理した量	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量	⑦ 自ら中間処理により減量した量	⑧ 自ら中間処理した後，再生利用した量	⑨ 自ら中間処理した後，自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
燃え殻														
汚泥	1									1				
廃油														
廃酸														
廃アルカリ														
廃プラスチック類	20									20	14	16		
紙くず	2									2	2	2		
木くず	10									10	10	10		
繊維くず														
動植物性残さ														
動物系固形不要物														
ゴムくず														
金属くず														
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず														
鉱さい														
がれき類	1750									1750		1750		
動物のふん尿														
動物の死体														
ばいじん														
混合廃棄物	1									1	1	0		
合計	1783	0	0	0	0	0	0	0	0	1783	27	1778	0	0

別紙３－その２

単位:トン／年

産業廃棄物の種類	実績値									
	①	②＋⑧	⑤	⑦	③＋⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
	排出量	自ら再生利用を行った量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	熱回収認定業者への処理委託量	熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	20	0	0	0	0	20	14	16	0	0
紙くず	2	0	0	0	0	2	2	2	0	0
木くず	10	0	0	0	0	10	10	10	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類	1750	0	0	0	0	1750	0	1750	0	0
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混合廃棄物	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1783	0	0	0	0	1783	27	1778	0	0

別紙4（廃棄物処理法−産業廃棄物処理計画実施状況報告書）

（令和4年度実績）

単位:トン／年

	目標値		実績値
排出量	1047	①排出量	1783
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		②自ら直接再生利用した量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		⑤自ら熱回収を行った量	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		⑦自ら中間処理により減量した量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		③自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	
全処理委託量	1047	⑩全処理委託量	1783
優良認定処理業者への処理委託量	114	⑪優良認定処理業者への処理委託量	27
再生利用業者への処理委託量	1036	⑫再生利用業者への処理委託量	1778
熱回収認定業者への処理委託量		⑬熱回収認定業者への処理委託量	
熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	